

How

2004 VOL. **21** 男女共同参画社会をめざす **情報紙**

わたしたちの声を届けたい

3歳と5歳の子どもをもつ英子さんは、夫と協力しながら仕事と育児・家事に忙しい毎日をご過ごしています。あるとき、市の広報紙をみていて「子育て支援にあなたの意見を反映します」という見出しに目がとまりました。

どうやら、市が子育て支援のための計画を作るので市民委員を募集しているようです。子育てについてはいろいろと悩みや考えるところのある英子さん。子育ては、まさに今の自分の問題です。持ち前の好奇心もあって、思い切って市民委員に応募しました。会議にはじめて出席したときには、ドキドキしましたが、日ごろ困っていることや感じていること、親として悩んでいることなどを発言して、自分が普段考えていることが会議のテーマだと感じました。

これまで市役所へは何かの手続きでしか足を運ぶことがありませんでしたが、自分たちに身近で大切なことが、こうした会議で決まっていくのだと知って、自分たちの暮らすまちが住みよいまちになるためには、関心をもって発言していくことが大切なんだと感じています。

